

Blood Information

ブラッド・インフォメーション

献血月間情報 2020年6月号

〔発行元〕 **岩手県赤十字血液センター献血推進課** 〒020-0831 岩手県盛岡市三本柳6-1-6

TEL: 019-637-7201

CONTENTS

- ・「愛の血液助け合い運動」月間
- ・オープン献血 in 上野法律ビジネス専門学校
- ・健康ミ二知識 vol.43

TOPICS

7月は「愛の血液助け合い運動」月間です

厚生労働省、都道府県、日本赤十字社が協力して、毎年7月に「愛の血液助け合い運動」を実施しています。この取り組みは血液事業を安定的・継続的に維持し、血液製剤の国内自給を確保するため、献血について国民一人一人、特に若年層に理解と協力を求め、献血運動の一層の推進を図ることを目的としています。今年の標語は「行ってみよう 少しの勇気で 救える命」です。輸血用血液製剤は長期保存ができないため、年間を通じて安定的に確保することが必要です。初めての献血には少し勇気が必要かもしれませんが、その勇気で救える命があります。お近くに献血バスがお邪魔した際はぜひ、献血へのご協力をお願いします!

TOPICS

オープン献血 in 上野法律ビジネス専門学校

献血は、献血ルームや献血バスに来ていただく方法と、もう一つ、オープン献血という方法があります。オープン献血とは、60~80名以上のまとまった人数のご協力をいただける場合に、事業所や学校、公民館などに献血の器材を設置して行う方法です。6月は上野法律ビジネス専門学校で実施させていただき、77名のご協力をいただきました。ありがとうございました!



健康ミニ知識 vol.43 「新しい生活様式」における熱中症予防のポイント

新型コロナウイルスの出現に伴い、感染防止のため、マスクの着用、3密(密集、密接、密閉)を避ける等の「新しい生活様式」が求められています。このような「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイントは以下のとおりです。

Ⅰ 暑さを避けましょう

・感染予防のため、換気扇や窓開放によって換気を確保しつつ、エアコンの温度設定をこまめに調整

2 マスクを適宜はずしましょう

- ・気温・湿度の高い中でのマスク着用は要注意
- ・屋外で人と十分な距離(2メートル以上)を確保できる場合には、マスクをはずす
- ・マスクを着用している時は、負荷のかかる作業や運動を避け、周囲の人との距離を十分にとった上で、 適宜マスクをはずして休憩を

3 こまめに水分補給しましょう

- ・1日あたり1,2リットルを目安に
- ・のどが渇く前に水分補給
- ・大量に汗をかいた時は塩分も忘れずに

4 日頃から健康管理をしましょう

・日頃から体温測定、健康チェック

5 暑さに備えた体作りをしましょう

- ・「やや暑い環境」で「ややきつい」と感じる強度で毎日30分程度
- ・水分補給は忘れずに無理のない範囲で







(厚生労働省HP https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_coronanettyuu.html より引用)

岩手県の献血・供給状況(5月)

Data 岩手県の献血状況 血小板成分献血 316 人 8% 血漿成分献血 871 人 22% 献血受付者数 4,360人 献血者数 3,878人 400mL献血 2.581 人 200mL献血 67% 110 人 3% 【献血状況】

全血献血は200m L 換算で**5,272本**、400mL献血率 (400mL献血者数/全血献血者数) は**95.9%**でした。

血/恢製剂 535本 15% 供給本数 3,431本 400mL赤血球 製剤 100本 3%

岩手県の供給状況

【供給状況】

血漿製剤は血漿成分献血からだけではなく、200mL献血 や400mL献血からも作られています。

ホームページでも閲覧できます。 岩手県赤十字血液センターホームページ https://www.bs.jrc.or.jp/th/iwate/



